中学校用

「知る・見る・考える掃除」

ガイド一式

みんなでつくろう キレイをいっしょに

目　　次

【単元全体の概要】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

【授業１】なぜ掃除をするのか考えよう
概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
進行ガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
ワークシート１ガイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

【授業２】学校掃除を見直そう
概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
進行ガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
ワークシート１ガイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
ワークシート２ガイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
参考資料１ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

【発展授業】教室掃除改善計画を立てよう
概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
進行ガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
ワークシート１ガイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
ワークシート２ガイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
参考資料１ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

知る・見る・考える掃除

中学校対象　／家庭科・総合的な学習の時間／1時間×2 授業

●授業の概要

掃除の意義をグループで話し合い、掃除のポイントを知ることで、自らの行動を振り返る内容です。

カリキュラムは、

・掃除をする意義を考える

・プロの掃除を参考にして、学校掃除をよりきれいに、より効率的に行うために自分自身の行動を見直し、掃除をする際のこれからの目標をたてる

・段取りを考えて掃除をすることの必要性を理解する

をねらいとし、2授業＋発展の3部構成となっています。

行動を振り返り、より効率的に掃除をするための目標をたて、実践にむすびつけるため、清掃活動をキャリア教育の一環として活用していただけます。

●学習指導要領での位置づけ

【家庭科】

目標：実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

内容：室内環境の整備と住まい方について、次の事項を指導する。

ア　家族が住まう空間としての住居の機能を知ること

イ　安全で快適な室内環境の整え方を知り、よりよい住まい方の工夫ができること

【総合的な学習の時間】（総則）

各教科、道徳及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにすること

●授業の構成

授業 1　なぜ掃除をするのか考えよう（50 分）

KJ 法を用い、グループでなぜ掃除をするのかについて考えることにより、一人ひとりが掃除の意義、必要性について認識をする。

※KJ 法
意見・アイデアなどを1枚ずつ小さなカード（付箋紙など）に記述し、近い感じのするもの同士をグループごとにまとめて、図解・文章にまとめてゆく。多くの断片的なデータを統合して、創造的なアイデアを生み出したり、問題の解決の糸口を探り出したりする手法。

授業 2　学校掃除を見直そう（50 分）

プロの掃除について知ることで、段取りを考えながら効率よくきれいに掃除をするポイントを理解し、自らの掃除時間を振り返り、今後に生かせるようにする。

発展　　教室掃除改善計画を立てよう

掃除時間を自分たちの力をつける場として見直し、その力を伸ばすためにグループで協力して効率よく掃除をする方法を考え、計画を立て、発表する。また、「計画→実行→振り返る→改善」の大切さに気づかせ、日々の掃除活動だけでなく、グループ活動などにも今後、生かせるようにする。

●授業のねらい

学習項目	知識・理解	関心・意欲・態度	思考・判断・創意工夫	技能・表現
授業1 なぜ掃除をするのか考えよう	➢ 掃除の大切さ、必要性がわかる ➢ 学校などの公共の場は一人ひとりの意識が大切であることを知る ➢ ホコリや汚れが人に与える影響を知る	➢ 掃除に関心を持ち、積極的に授業に取り組む ➢ グループで協力して活動ができる	➢ 掃除をする意義を、自ら考える	➢ グループで考えたことをわかりやすくまとめ、発表することができる
授業2 学校掃除を見直そう	➢ 効率よくきれいにするための具体的な手だてを知る	➢ 学習したことを、これからの学校生活で生かそうという意欲をもたせる	➢ これまでの自分の行動を振り返り、分析することができる ➢ 自分がこれからしようとすることを考える	➢ 相手に分かりやすく伝えることを意識して、発表することができる
発展 教室掃除改善計画を立てよう	➢ 役割を明確にすることの大切さを知る ➢ 掃除時間はグループの協力が不可欠であることを知る	➢ グループで協力して活動ができる ➢ 自分のグループと他のグループの考えの違いに気づく ➢ 学習したことを、これからの学校生活で生かそうという意欲を持つ	➢ これまでのグループの行動を振り返り、分析し、改善計画を立てることができる ➢ 目的に応じた実践可能な計画を立てることができる	➢ 相手に分かりやすく伝えることを意識して、発表することができる

●カリキュラムの活用方法

1）授業１、授業２の活用について

授業１、授業２は、1 時間ずつの構成になっています。目的や授業時間数によって実施カリキュラムを選択してください。

・学活やオリエンテーションなどでの 1 時間のみの実施

・総合的な学習や家庭科の時間などで 2 時間での実施　　など

2）発展に関して

発展授業は、グループで協力して教室掃除を見直し、改善計画を立てる内容となっています。学校によって状況が異なる上に、グループ活動が主体となりますので、特に授業時間数を設定しておりません。必要に応じて授業時間を自由に定め実施してください。

授業1　なぜ掃除をするのか考えよう

授業１では、なぜ掃除をするのか、グループで掃除をする意義について話し合い、生徒自らが理由を考える。そして汚れの原因、ホコリや汚れが生活に与える影響を考えることを通して、掃除の意義を理解する。

進行概要（50 分）

	min	概要
導入	5	これからの授業について
展開	30	・どうして掃除をするのかをグループで考える ・グループの意見を発表する ・掃除の意義（健康・耐久・安全・快適）について確認する
まとめ	15	掃除をする意義を考え、掃除の必要性を認識する

使用教材

	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	スライド教材 （なぜ掃除をするのか考えよう）	Microsoft® PowerPoint®	14 画面	授業の流れに従って生徒の活動を導く、授業進行に活用する教材	教師
②	ワークシート1 （なぜ掃除をするのか考えよう）	Microsoft® Word® （A4 サイズ）	1 枚	授業の中で学んだことや思考したことを書き留めるワークシート	生徒

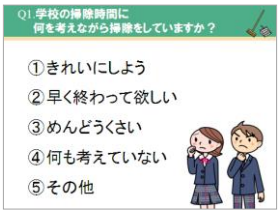
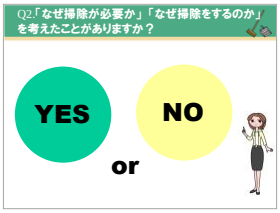
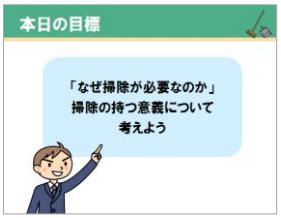
準備物

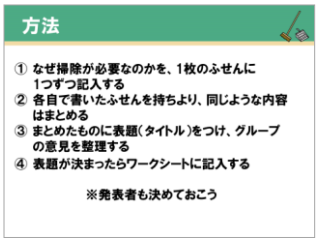
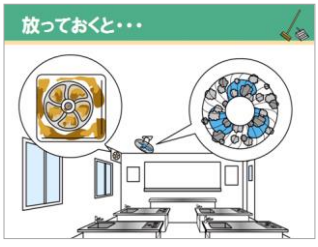
配付資料:　・ワークシート 1

機　材　:　・パソコン（スライド教材の準備）
・スクリーン
・プロジェクター

そ の 他　:　・付箋紙（1 人につき 5 枚程度、 5cm×5cm 程度の大きさが良い）
・模造紙（グループに 1 枚、 1/2 サイズでも良い）
・太サインペン（グループに 1 本）

「なぜ掃除をするのか考えよう」 進行ガイド

	進行用スライド		流れ
導入 5分	   	ねらい	**●日常の掃除に対する意識を確認する** **●活動の目的を明確にし、見通しをもたせる**
		進行・教師の投げかけ	【発問】 ・学校の掃除時間、みなさんは何を考えながら掃除をしていますか？ ① きれいにしよう ② 早く終わってほしい ③ めんどうくさい ④ 何も考えていない ⑤ その他 **※何人かの生徒に選んだ理由等を質問する** **※ここは生徒の掃除に対する意識の確認として、簡単に楽しく実施する** ・きれいにしたいと思って掃除している人もいるけれど、めんどうくさい、何も考えていないという人もいました。では、なぜ掃除が必要なのでしょう。なぜ毎日掃除をするのかを考えながら掃除をしている人？ **※現状の掃除に対する意識の確認と、掃除に対しての興味関心を高める** ・なぜ毎日掃除をするのか、考えながら掃除をする人もいましたし、何も考えずに掃除をする人もいました。 そこで今日はなぜ掃除が必要なのか、掃除のもつ意義について考えていこうと思います。
展開 30分	 	ねらい	**●社会的な話題をもとに、誰かがきれいにしてくれるという一人ひとりの意識が、ひどく汚れた状態につながることを理解する**
		進行・教師の投げかけ	【発問】 ・みなさんもよく知っている富士山。富士山は日本のシンボルであり、「信仰の対象と芸術の源泉」の名で、世界文化遺産に登録されました。 この富士山は以前　どんな状態だったか知っていますか？ **※何人かの生徒から意見を引き出す。** ・富士山は1960年代ころから登山者が増加し、ゴミ問題が深刻化するようになったといいます。どうしてこのような事態になったのでしょうか？ **※「登山をする人がゴミを捨ててしまう」、「自分ひとりぐらいだったら問題ない」「みんなが捨てているから許される」 等、といった意見を引き出す。** 【説明】 ・人がゴミを捨てるからです。「自分だけだったら大丈夫」なんて思う人がいるからです。そこで、ごみ問題を解決するため、国・自治体、市民団体等によって大々的な清掃活動、持ち帰り運動等が展開され、最近では、五合目以上の登山道における散乱ごみは随分、減少したといいます。 ・ひとりひとりの心がけで解決できるのに、国や自治体、市民団体等が、大がかりな清掃活動をしているのが現状です。 【発問・説明】 ではみんなのまわりにある学校や教室やトイレは、どうですか？ 一人ひとりが、きれいにするようこころがけていますか？ ・山や川などの自然、公共の場所など、誰が掃除をするか決まっていない場所は一人ひとりが意識をしないと、汚れてしまうばかりですね。 ・公共の場である学校を掃除するのはみなさんです。みなさん一人ひとりの心がけがとても大事なのです。 ※環境を整えるには、ひとりひとりの心がけが大事であることを引き出す

	進行用スライド		流れ
		ねらい	**●生徒一人ひとりが、自ら掃除をする意義を考える** **●グループで協力して活動をする**
	  	進行・教師の投げかけ	【説明】 ・ではあらためて考えてみましょう。「なぜ掃除が必要」なのでしょうか。これからグループになってなぜ掃除が必要なのかについて、さらに考えていきましょう。 ＜準備＞ 1. グループの形になる 2. 1 人につき 5 枚程度の付箋と、グループに 1 枚模造紙と太マジックペンを配布する ＜方法＞ 1. なぜ掃除が必要なのかを、2 分以内に 1 枚の付箋に 1 つずつ記入。（3 つ以上記入するよう促す） 2. 各自で書いた付箋を持ちより、同じような内容のものをまとめる 3. まとめたものに表題（タイトル）をつけ、グループの意見を整理する ・イメージがわきにくいようであれば、教師が黒板に例を記入する 例えば、 体に悪そう、病気になりそう、かゆくなりそう　＝健康のため　など。 ※グループでのまとめは 15 分以内で行うよう伝える ※グループで出た表題（タイトル）はワークシートに記入するよう伝える 4. いくつかのグループに、「掃除は何のためにするのか、掃除の意味」についてグループで出た意見を発表させる（10 個程度） ※他のグループの発表を聞き、自分のグループにない表題（タイトル）があれば、ワークシートに記入するよう伝える
まとめ 15 分		ねらい	**●掃除の必要性を認識し、これからの掃除に対する思いを確認する**
	    		【説明】 ・いろいろな意見が出ましたね。では「なぜ掃除をするのか」について整理しましょう。なぜ掃除をするのかを、「掃除をしなかったらどうなるのか」も合わせて、ワークシートにまとめましょう。 ※「健康のため」「快適な暮らし（気持ち悪くならないように）のため」などが出てくることが予測される。ただし、「安全な暮らしを守る」「ものを長持ちさせる」などの意見は出てきにくい。生徒の発表を受けて、教師から補足説明という形で掃除の意味についてまとめる。 ※ワークシート 1 に、「掃除の持つ意義を表すキーワード」と掃除をしなかったらどうなるかについて、教師の説明を聞きながら記入させる。 【説明】 ※**健康**、**快適**、**耐久**、**安全**は、掃除をする意義を表すキーワードとして紹介する。どの項目から補足説明をしてもかまわないが、一般的に出やすい「健康」「快適」からが効果的。 ・まずみんなも出してくれていた「掃除をする必要性」の一つ目は・・・ なんといっても人間の体への害　**健康**への害です。 ホコリに含まれるダニの死骸やフンは、かゆみやさまざまなアレルギー症状の原因の 1 つです。またホコリの中に含まれるカビや細菌は、ホコリを乗り物にして室内を移動し、食べ物などに付着して、食中毒や伝染病などを引き起こす場合があります。抵抗力の弱い赤ちゃんや高齢者には、注意が必要なものです。花粉症の元凶となる花粉もホコリの 1 つです。掃除をせずにホコリがたまると、病気になってしまう可能性があります。皆さんの健康を考えると、掃除の行き届いたきれいな教室で勉強するほうがよいですね。 ・次に、掃除をすると気持ちが良くなる、**快適**になります。きれいな教室と掃除が行き届いていない教室では、勉強のはかどり方が違います。やはり掃除をせずに汚くなってしまったら、その場所に近づきたくなくなる、やる気がなくなるなどが言えます。 ・3 つめは実は掃除をしないことで電化製品にも影響します。たとえば照明器具の明るさが低下したり、エアコンや暖房器具の機能が低下したり**耐久性**も悪くなります。エアコンメーカー各社も、通常フィルターの汚れが原因で10%前後消費電力が増加すると記載しています。この扇風機や換気扇のようになって機能が落ちたり、ひどい時には壊れてしまったりする可能性もあります。掃除をして大切にすることで、物を長持ちさせることもできるのです。

	進行用スライド		流れ
	 	進行・教師の投げかけ	・またこんなこともあります。こちらの画像を見てください。 **※トラッキング現象のイラストを見せる** ・こんな状態を見たことがある人？ ・コンセントの上にホコリがたまった状態で放っておくと、ホコリが湿気を含み、ショートを起こし、発火することがあるのです。これをトラッキング現象といいます。平成 23 年中　東京消防庁管内だけでも、トラッキング現象における火災が、80 件発生しています。大変怖い現象です。これは人間の**安全**をおびやかします。人々が安全な暮らしをしていくうえにおいても、掃除は必要ですね。 ・ホコリ、汚れは放っておくと、人間の生活に悪い影響が出てくるのですね。 **※生徒の発表でこれ以外の内容が出ていた場合は、それに気づいたことを大いに褒める。** **【説明】** ・今日の授業では、なぜ掃除をするのかについて、みんなで考えてもらいました。いろいろな意見が出てきましたが、先生は4つのキーワードで紹介しました。**「健康」「快適」「耐久」「安全」**の 4 つでしたね。今日からの掃除時間　今　学んだことを頭において掃除をしてください。みなさん一人一人の気持ちで掃除時間を有効に、そして気持ちの良い学校にしていってほしいと思います。 **※今日の授業で印象に残ったこと、また、今後どのような行動につなげようと思ったかワークシートに記入する**

なぜ掃除をするのか考えよう

（　　）年（　　）組　氏名（　　）

1）なぜ掃除をするのか記入します。

自分のグループの表題（タイトル）	他のグループの表題（タイトル）

2）掃除のもつ意義を表すキーワードを記入しましょう

掃除の意義を表すキーワード	掃除をしなかったらどうなる？
健康	かゆみやアレルギー症状のもとに
快適	近づきたくなくなる、居心地が悪い、いたくなくなる、やる気がなくなる　　など
耐久	機能低下につながる
安全	電気ショートを起こして、火事になる場合も・・・
※その他、生徒が考えたキーワードも記入	

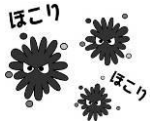
教師が紹介したキーワードを記入させるとともに、生徒自身が他にも掃除のもつ意義を見つけた場合は、それもキーワード化して記入させてください。（キーワード化することで、記憶に残りやすく今後にも活用しやすくなるため）

3）授業を受けて一番印象に残ったこと

授業で生徒が掃除の意義について、どのように感じ、またそれを今後どのような行動につなげようと思ったかを記入させてください。

ひとくちアドバイス

ホコリの居場所



ホコリは、空気中に舞い上がり、ゆっくりと降下し、家具や床などに積もります。
1マイクロメートルのホコリは、1m落ちてくるのに約9時間かかります！
ホコリが部屋のすみや、家具の裏側にたまりやすいのは空気が動かない場所だからです。

株式会社ダスキン　資料　暮らしの快適化生活研究所発行「ホコリの基礎知識」より

授業 2 学校掃除を見直そう

授業 2 では、今まで何気なく行っていた学校掃除をよりきれいに、より効率的に実施するために自分自身の行動を見直すとともに、グループでの目標を設定する。目標設定にあたり、掃除のプロが時間内にきれいにするために、限られた人数でどのように役割分担をしているか、手順や道具の使い方にどのような工夫をしているかを参考にする。

進行概要（50 分）

	min	概要
導入	2	これからの授業について
展開①	10	掃除時間における自分自身の行動を見直し、グループで共有する
展開②	15	プロの掃除を見て、掃除のポイントを知る
展開③	20	担当場所を段取りよく掃除するため、掃除を見直し、グループでこれからの目標設定を行う
まとめ	3	本日の振り返りと今後の確認

使用教材

	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	スライド教材 （学校掃除を見直そう）	Microsoft® PowerPoint®	6 画面	掃除計画を立てるための進行パワーポイント教材	教師
②	映像教材 1 （知って納得、プロの掃除−作業編−）	Microsoft® Media player ™	3 分 15 秒	実際にプロが掃除をする様子を紹介した映像教材。	教師
③	映像教材 2 （知って納得、プロの掃除−解説編−）	Microsoft® Media player ™	5 分 27 秒	プロがどのような工夫をしているかを説明している映像教材。	教師
④	ワークシート1 （学校掃除を見直そう）	Microsoft® Word®	1 枚	グループで目標設定等に使用するワークシート（グループで 1 枚） ※グループで使用する共有シートのため、四つ切画用紙程度の大きさが良い	生徒 (グループ)
⑤	ワークシート 2 （学校掃除を見直そう）	Microsoft® Word®	1 枚	学習した内容を書き留めるワークシート（個人用）	生徒

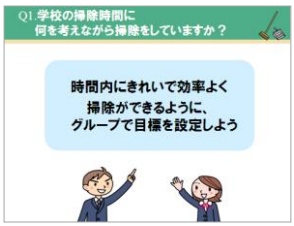
準備物

配付資料
- ワークシート1
- ワークシート 2

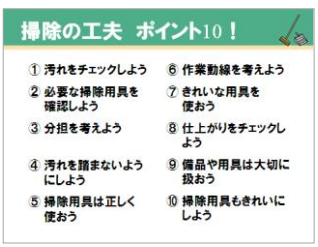
機　　材
- パソコン（映像教材を使用するため）
- スクリーン
- プロジェクター
- スピーカー（映像音声のため）

※グループワークがあるため、机はグループ活動（掃除班）のレイアウトにしておくとよい

「学校掃除を見直そう」進行ガイド

	進行用スライド		流れ
導入 2 分	 	ねらい	**●これからの授業の見通しを持たせる**
		進行・教師の投げかけ	【発問】 ・学校で 1 年間にどのくらいの時間　掃除をしていると思いますか？ ※何人かの生徒に発表させる ・大まかに計算をすると、“15 分（1 日の掃除時間）×20 日（約 1 か月分）×10 ヶ月（夏休みなどの長期休みを除く）＝3000 分”、1 年間で約 50 時間は、学校の掃除をしているのです。 ※1 日の掃除時間はたったの 15 分ではあるが、年間にすると多くの時間を費やしていることを気づかせる ※学校によって多少時間に違いがあると思うため、計算式を参考に時間を出す。 自校であればどれくらいになるか計算してもよい。 ・こんなにも長い時間をかけて行う掃除であれば、一度みんなで、『掃除時間を有効に使って、みんなで協力し、よりきれいにする』方法を考えてみましょう。 ※中学校 2 年生の職業体験で、社会でも掃除は基本として大切に考えられていることを学んだり、授業 1 でなぜ掃除をする必要があるかについて学んだりしている場合は、それらのことを伝えながら、掃除時間をもっと有効に使うための具体的な目標を設定することを伝えると効果的である
展開① 10 分		ねらい	**●目標設定をするにあたり、掃除時間を振り返り、自分自身の行動について見直す**
		進行・教師の投げかけ	＜流れ＞ 1. 付箋・ワークシート 1 をグループに 1 セットずつ配布する 2. 掃除時間に、自分自身はどのようなことを工夫したり、気をつけたりして掃除をしているかを振り返り、付箋に書く 3. グループで 1 枚のシートに、メンバーのそれぞれが工夫していることや気をつけて掃除をしていることを貼り出し共有する 4. クラス全体で各グループは今、掃除時間にどのようなことを工夫しているか共有する 【説明】 ・まず、今の自分を振り返って、掃除時間にどのようなことを工夫したり気をつけたりしているか、書いてみましょう。 ※付箋 1 枚につき、1 つ記入させ、何枚でも記入して良いことを伝える ※記入した付箋は、ワークシート 1 の「今、工夫していること」に貼りつけるよう伝える ・他のメンバーがどのようなことに工夫しているか共有しましょう。 ※他のメンバーが工夫していることで、今までそのこと気付かなかったことがあると思われるため、ここでは、お互いの工夫を確認しあいながら共有するよう伝える ・クラス全体で共有しましょう。 ※数グループに、グループメンバーがどのようなことを記入しているかを発表させる 【説明】 ・今、みんなで 掃除時間を振り返りながら工夫している点について共有してもらいました。ですが、今日の授業の目標は、『掃除時間を有効に使って、みんなで協力し、よりきれいにする方法を考える』ということです。そのためには、グループでこれからの掃除時間をさらに有効に使い、よりきれいに掃除できるという目標を設定します。しかし、いきなりどうやったらいいかを考えるのは難しいと思います。そこで、掃除のプロはどんな点に注意して掃除をしているのかを紹介している映像があるので見てみましょう。プロは、必ず決められた時間内にピカピカにしなければなりません。そのためにどのような工夫をしているか、参考になると思うので、見てみましょう。 ※掃除のプロの存在を紹介し、掃除の工夫についての興味を高める

展開②
15分



ねらい

●効率よくきれいにするために、プロはどんな点に注意して掃除をしているのか、具体的な手だてを知る

進行・教師の投げかけ

＜流れ＞
1. 映像教材①「知って納得、プロの掃除−作業編−」を見る
2. 再度映像を見ながら、付箋に気づいたことを記入させる
3. プロの掃除方法（工夫）とその理由を推測させる
4. ビデオ教材②「知って納得、プロの掃除−解説編−」を見るとともに、参考資料１を参照する

【説明】
・プロは掃除をするとき、さまざまな工夫をしています。では実際に掃除をしている映像を見て、どのようなことをしているのか見てみましょう。
※映像教材①「知って納得、プロの掃除−作業編−」を見る

・自分たちの掃除時間と比べて、いろいろな違いがあったのではないでしょうか。では、もう一度、掃除をしているところだけ流しますので、今度は「どんなところを工夫しているか、気をつけているところなど」を、付箋に記入しながらビデオを見てください。
※映像教材①（実際に作業しているところのみ）を再度見て、付箋に気づいたことを記入させ、ワークシート１「プロの工夫」の欄に貼り付けさせる
※付箋１枚につき、１つの気づきを記入するよう促す
※時間の関係でビデオを2回視聴することができない場合は、１回目の視聴の時から、「プロの掃除の工夫・気づき」を付箋に書くよう伝える

・どんなことに気づきましたか？発表してください。
※生徒のさまざまな気づきを肯定する。また、教師は追加として 15 ページの「参考資料：プロの掃除の工夫」の「プロの工夫」の欄からいくつか選び、紹介する。（本参考資料はここでは配布しない）

【発問】
・なぜプロはそのようなことをしていると思いますか？
※「プロの行動に対して、なぜそのようなことをしているのかを推測させ何人かに発表させる
例）「最初にどこにどんな汚れがあるかをチェックしていた」→なぜそんなことをするのか？
「後ろ向きに掃いていた」→なぜ後ろ向きに掃いているのか？
※何人かの生徒にどのようなことを推測したか聞く
※なぜそのようなことをしているか理由を考えて、解説編ビデオを見ることで、全ての行動には意味があることへの気づきを促す。

【説明】
・では、実際にプロはどのような点に注意して掃除をしているか、解説編があるので見てみましょう。
※映像教材②「知って納得、プロの掃除−解説編−」を見る

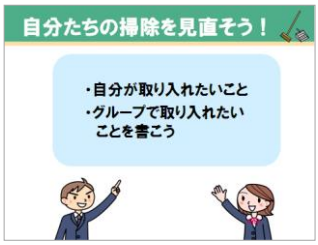
・いろいろな工夫をしていることがわかりましたね。理由をまとめた資料があるので見てみましょう（参考資料１を配布する）。一つ一つ何気なく行われていましたが、全てのことには理由があったのですね。
※参考資料１を配布し、それ以外の工夫と理由について、特に教師が伝えたいところを強調して確認させる

進行・教師の投げかけ

・では、掃除をする際のポイントを整理しましょう。
※ワークシート２を配布し、記入するよう促す。

1.汚れをチェックしよう	6.作業動線を考えよう
2.必要な掃除用具を確認しよう	7.きれいな用具を使おう
3.分担を考えよう	8.仕上がりをチェックしよう
4.汚れを踏まないようにしよう	9.備品や用具は大切に扱おう
5.掃除用具は正しく使おう	10.掃除用具もきれいにしよう

・プロはきちんと段取りを立てて作業をすることで、ムリ・ムラ・ムダをなくし、安全の確保にもつながると言っていました。お客様に感動を与えるために、想像以上の品質を目指しているとも言っていましたね。皆さんも、ぜひ教えてもらったポイントを取り入れて、気持ちのよい学校で過ごせるよう、次の掃除からどうするかを考えてみましょう。

<table>
<tr><td rowspan="2">展開③
20分</td><td rowspan="2"> 
</td><td>ねらい</td><td>●これまでの自分の行動を振り返り、分析することができる
●自分がこれからできることを考える
●相手に分かりやすく伝えることを意識して発表することができる</td></tr>
<tr><td>進行・教師の投げかけ</td><td>＜流れ＞
1. これからの掃除で「取り入れたいポイント」を付箋に書き、ワークシート 1 に貼り出しグループで共有する。
2. グループとして取り入れると良いと思うことを共有し、意見をまとめさせる。
3. まとまった意見をワークシート 1「グループの目標」に記入させ、クラス全体で共有する。

【説明】
・これからの掃除で取り入れたいポイントを書いて、ワークシート 1 の「取り入れたいポイント」に貼りましょう。

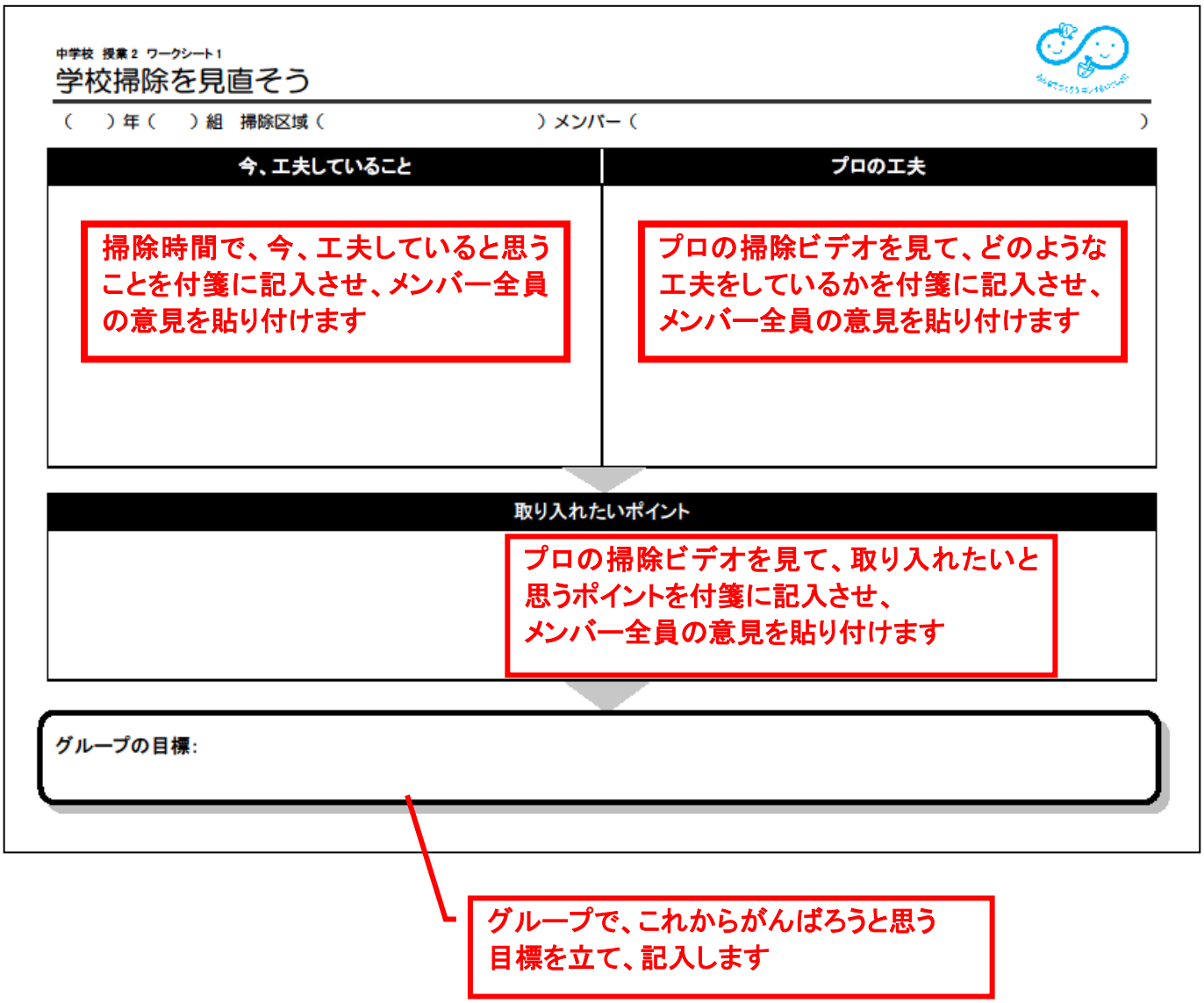
・次に、グループでの目標を立てましょう。
※目標は 1 つだけに絞る必要はなく、2 つ 3 つと取り入れても良いことを伝える

・グループでの目標が決まったら、ワークシート 1 の「グループの目標」に記入してください。
※ワークシート 1 の「グループの目標」に記入させる
※ワークシート 1 は各掃除区域等に貼り出すことを伝える

・グループで立てた目標を発表しましょう。
※発表した内容が少し抽象的であった場合、具体的にどんな活動を行おうと思っているかを聞きながら進める
例）
−「きれいな用具を使う」という目標を立てた場合
「きれいな用具を使うためには、具体的にどんなふうにしたらいいかな？」
−机の上を拭くときには、途中でぞうきんを洗いに行く or 最初から多めに机拭き用のぞうきんを用意しておく　などの意見を想定。

−「掃除用具を正しく使う」という目標を立てた場合
「正しい用具の使い方というのは、具体的にはどういうふうにしようと思っていますか？」
−ホウキはホコリを立てないように使う、などの意見を想定。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">まとめ
3分</td><td rowspan="2"></td><td>ねらい</td><td>●学習したことを振り返り、今後の学校生活で活かすように意欲をもたせる</td></tr>
<tr><td>進行・教師の投げかけ</td><td>【説明】
「立てた目標は今日（明日）から実際にやっていきましょう。掃除時間を有効に使って、みんなで協力し、より学校を快適に、きれいにしてください」
※後日、再度、授業実施が可能な場合は、「やってみてどうだったか」、「目標通りに実行できたか」、「次の目標は何にするか」などの振り返りを行う</td></tr>
</table>

●ワークシート1は、グループで１枚利用します。
●付箋を貼り付けられるよう、四つ切画用紙サイズ程度の紙をご利用ください。



学校掃除を見直そう

（　　）年（　　）組　氏名（　　）

1）掃除をする際のポイントを書きましょう

1. 汚れをチェックしよう
2. 必要な掃除用具を確認しよう
3. 分担を考えよう
4. 汚れを踏まないようにしよう
5. 掃除用具は正しく使おう
6. 作業動線を考えよう
7. きれいな用具を使おう
8. 仕上がりをチェックしよう
9. 備品や用具は大切に扱おう
10. 掃除用具もきれいにしよう

2）授業を受けて一番印象に残ったことと、初めて知ったことなど書きましょう

ひとくちアドバイス

身近な掃除用具の使い方～ホウキとぞうきん～

＜自在ホウキ＞
・自在ホウキは、柄を真っ直ぐに立て、その位置から１５～３０度角度を寝かせて使う
・ホコリを立てないよう、出来るだけそっと押さえつけるような気持ちで
・チリトリは後ろにずらしながらごみをとる
・自在ホウキは片付ける前に、金グシで絡んだゴミをとっておく
・収納はブラシが直接床に触れないように吊り上げるかまたは、逆さまに立てる

＜ぞうきんの絞り方＞
・右手でぞうきんの上端を持って、左手で下にしごいていき、左手がぞうきんの下端に着た時、U の字にぞうきんを折り重ね、棒状にする
・棒状にしたぞうきんを、両方の手でバットを握るように体の前で、バットの先を地面につけるような姿勢で握り、腕を伸ばすような気持ちで、両肘を寄せるように握った手を内側に絞る
・何度かぞうきんを握り替えて、固く絞る（水が落ちなくなるまで）
※ぞうきんが長い場合は、端を持って上から順に固く絞り、雑巾を手繰り寄せながら位置を移動させてまんべんなく絞っていく

株式会社ダスキン　暮らしの快適化生活研究所より

参考資料１　プロの掃除の工夫

「知って納得！プロのお掃除」で、プロがどのような作業を行っているか、なぜそのような作業を行っているかについてまとめています。太字は、学校で皆さんがすぐに取り入れられる部分ですので、参考にしてください。

	プロの工夫	理由
準備	**①どこにどんな汚れがあるかをチェックする**	①汚れに合わせた用具、薬剤を準備できる
	②掃除用具を確認している	
	③他の人とどんな作業をするか確認している	
	④机・イスの移動時に手袋をし	
	⑤机・イスを部屋の外に運んでいる	⑤よりすみずみまできれいにするために
掃き掃除	**①後ろ向きに掃いている**	①きれいにしたところを踏まず、自分の足跡を残さないようにするため
	②モップを最後まで持ち上げずに掃除している	②ホコリを舞い上げないでゴミを確実に集めるため
	③一人が掃き掃除を行い、もう一人は薬剤を調合している	③分担をして作業効率を上げるため
床の洗浄	**①後ろ向きに器材を動かしている**	①掃除をしたところを踏まないようにするため
	②モップを途中で洗っている	②きれいな用具を使い、汚れた水がまた床につかないようにしている
	③洗浄の機械だけでなくモップも使っている	③機械で浮かび上がった汚れた水をきれいにふき取るため
	④すみの壁をモップで拭くときに、手でモップの先をもって拭いている	④よりきちんとふき取るため、また、壁を傷つけないようにするため
ワックスがけ	①後ろ向きにワックスをかけている	①踏まないようにするため
	②ワックスがけの担当ではない人は、片付けを始めている	②分担して作業効率を上げるため
	③スリッパに履き替えている	③汚れたくつで入ることでまた汚さないようにするため
後片付けとチェック	**①掃除が終わった後に二人でチェックしている**	①掃除し忘れたところがないかを確認するため、一人ではなく二人で確認し、汚れの見落としを防ぐため
	②手袋をして机を運んでいる	②机やイスにキズをつけたりしないように
	③机を部屋の中に運ぶ人と、入り口まで持ってくる人がいる	③分担をして作業効率を上げるため
	④お客様に確認してもらう	④仕上がりの確認をしていただき、ミスがないようにするため
掃除用具の片付け	**①掃除用具を手入れしている**	①次に使う時にきれいに使えるように
	②薬剤の補充をしている	②次の人がすぐに使えるように

太字は生徒でもすぐに取り入れられる、考えてもらいたい内容です。更に取り入れて欲しい項目があれば、追加していただき、生徒に確認させてください。

発展授業　教室掃除改善計画を立てよう

発展授業では掃除時間を自分たちの力をつける活動の場として見直し、グループで目標を持ち、よりきれいで効率的に掃除をするためどうすれば良いか、掃除の手順を見直し、掃除計画を立てクラスで共有する。グループで掃除時間について更に考えていくことで、掃除時間はグループの協力が不可欠であること、役割を明確にすることの大切さなどを理解させる。

進行概要

	概要
導入	本授業の見通しを持つ
展開①	グループで掃除を見直し、教室掃除改善計画を立てる
展開②	グループで考えた計画をクラスで発表し共有する
まとめ	本授業の振り返りと今後の確認

学校、クラスの状況に応じて自由に時間配分を設定してください。

使用教材

	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	スライド教材 （教室掃除改善計画を立てよう）	Microsoft® PowerPoint®	13 画面	進行パワーポイント教材	教師
②	ワークシート 1 教室掃除改善計画を立てよう	Microsoft® Word® （B4 サイズ）	1 枚	生徒が掃除計画をまとめるためのワークシート（グループで 1 枚）	生徒
③	ワークシート 2 教室掃除計画 ヒヤリングシート	Microsoft® Word® （A4 サイズ）	1 枚	他のグループの発表を聞いてまとめるワークシート（個人用）	生徒
④	映像教材 1 ダスキンが提案する教室掃除	Microsoft® Media Player ™	3 分 7 秒	ダスキンが提案している教室掃除を実演した映像教材	教師
⑤	参考資料 1 教室掃除工程表	Microsoft® Word® （A4 サイズ）	1 枚	ダスキンが提案している教室掃除工程表	生徒

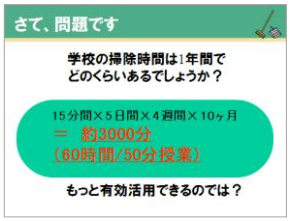
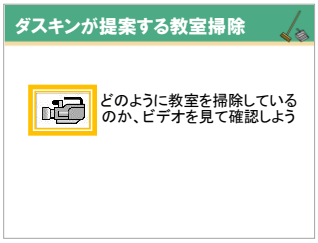
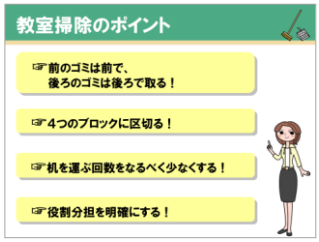
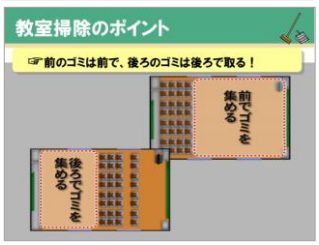
準備物

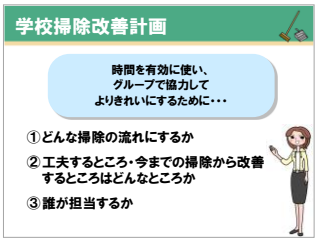
配付資料
- ワークシート1
- ワークシート 2

機　　材
- パソコン（映像教材を使用するため）
- スクリーン
- プロジェクター
- スピーカー（映像音声のため）

※グループワークがあるため、机はグループ活動（掃除班）のレイアウトにしておくとよい。

「教室掃除改善計画を立てよう」進行ガイド

	進行用スライド		流れ
導入		ねらい	**●これからの授業の見通しを持たせる**
		進行・教師の投げかけ	【発問】 ・学校の掃除時間は、1年間で何分（何時間）くらいあると思いますか？ **※何人かの生徒に発表させる** ・大まかに計算をすると、“15 分（1 日の掃除時間）×20 日（約 1 か月分）×10 ヶ月（夏休みなどの長期休みを除く）＝3000 分”、1 年間で約 50 時間は、学校の掃除をしているのです。 **※1 日はたったの 15 分ではあるが、多くの時間を費やしていることへの気づかせる** **※学校によって多少時間に違いがあると思うため、計算式を参考に時間を出す** ・こんなにも長い時間をかけて行う掃除なので、一度みんなで、『掃除時間を有効に使って、みんなで協力し、よりきれいにする』方法を考えて実行してみましょう。みんな掃除の時間に、『きれいにしよう』って思っている人や、『早く終わらないかな』って思っている人などいろいろいると思いますが、『掃除時間を有効に使い、協力し、よりきれいにすること』をみんなで考えてみたいと思います。
展開①	  	ねらい	**●目的に応じた実践可能な計画を立てることができる** **●グループで協力して活動ができる**
			＜流れ＞ 1. ダスキンが提案している教室掃除について知り、自分たちの計画の参考にする 2. グループに分かれ、教室をもっときれいに効率よくするためにはどうするかを話し合う 3. グループで役割分担、作業工程、掃除用具の使い方などを考えた「教室掃除改善計画」（ワークシート）を立てる ・『掃除時間を有効に使い、協力し、よりきれいにすること』といっても、具体的には何をしたらいいか、イメージがわきにくいかもしれません。実は掃除の会社のダスキンも、学校の掃除についていろいろと研究しているらしく、教室掃除について提案しているものがあります。その映像を見てみましょう。 **※映像教材①「ダスキンが提案する教室掃除の手順」を見る** 【発問】 ・この映像のポイントは何だったでしょうか。 **※何人かの生徒に当てて発表させる。** 【説明】 ・今の映像のポイントは 4 つありました。 では詳しく説明しましょう。 ①「前のゴミは前に、後ろのゴミは後ろで取る」 教室を前部分と後ろ部分に分けて、前と後ろでごみを取ります。 「① 教室の前部分のゴミを掃き集める時は黒板側に向かって掃き、ゴミは、前側で取る」 「②教室の後ろ部分のゴミを掃き集めたら、後ろ側で取る」



②「4 つのブロックに区切り、掃く→拭く→運ぶ の作業を二人ペアで行う」

ブロックを区切ることで、自分がどこの部分を掃除すればよいかが明確になる。
またホウキ担当と床ふき担当がペアになり、机運びまでの作業を行う。

③「机を運ぶ回数をなるべく少なく」

机を何度も運ぶと時間がかかるし効率も悪い。それを少しでも減らすために、後ろに下げた机を前に出す時に、最初の何列かを定位置に戻す。

④「役割分担を明確に」

どのようにするともっとも無駄なく効率よく掃除ができるか考える。
例）机を運ぶのは全員、ホウキで掃いているときに黒板を拭き、床のゴミ・黒板のチョークの粉を一緒にちりとりで取る　など

などがありましたね。

【説明】

・この映像の人の動きを表した掃除工程表があります。見方としては左側に掃除の流れ（作業）を書き、その流れ（作業）を誰が担当するかを右側の●で示しています。このように役割分担を考えて、効率よく動けるように計画されていますね。

※参考資料　1「教室掃除工程表」を配布し、説明をする。（この工程表を説明することで、グループで教室掃除改善計画を立てる時に使用する、ワークシートの書き方の説明にもつながる）

【説明】

・これからグループで教室の掃除計画を立てます。立てた内容は発表してもらうので、その計画のどこがポイントなのか、工夫しているところなどをまとめてください。

※掃除区域はさまざまであると思われるが、まずは教室に焦点を絞って活動することで、「他のグループとの考えの違いに気づき」、「楽しんで活動ができる」ことをねらいとしている

※ワークシート 1「教室掃除改善計画を立てよう！」を配布する

【説明】

・ワークシートを使って、効率よく掃除をするために、どのような工夫をして、今までの掃除からどのように改善すればよいかを考えましょう。掃除の流れは「作業項目」のところに書き、次の「工夫する点」に、その作業を効率よくするための工夫などを考え記入します。作業項目ごとに誰が行うのかを、●印をつけます。あとで発表してもらいますので、特に工夫しようと思うところ、今までの掃除方法から変更しようと思うところなどを明確にしてください。

※立てた計画は発表してもらうので、発表する人を決めるなどグループで協力するように促す

※参考資料 1 も参考にするよう促す

※教師は机間巡視を行い、生徒が具体的な計画を立てられるようにアドバイスをしていく

＜計画がなかなか立てられない場合＞

※「もっときれいにするために」は、
・どこにどんな汚れがあるのか
・それをどうやって掃除をすればよいのか
などを考えて計画を立てる

※「もっと効率よくするために」は、
・何が効率を悪くしているのか（ゴミが取れない、机を運ぶのが大変、掃除用具が足りないなど）
・どうやって解決をしたらいいのか
などを考えて計画を立てる

というように、具体的に「もっときれいに」「もっと効率よく」などの点で、今の掃除にはどんな課題があるかを明確にし、それを解決する方法を考えて計画を立てることを伝える。

<table>
<tr><td rowspan="2">展開②</td><td rowspan="2"></td><td>ねらい</td><td>●計画のポイントを発表することができる
●他のグループにわかりやすく伝えることができる
●自分のグループと他のグループの考えの違いに気づく</td></tr>
<tr><td>進行・教師の投げかけ</td><td>＜流れ＞
1. グループの発表者は、どのような計画を立てたかを伝える（特にどんな工夫をしているのか、何を改善しようと思っているのかなどのポイントをはっきりと）
2. 他のグループの良いと思った点を発表する

【説明】
・グループごとにどのような計画を立てたか発表してもらいます。工夫しようと思うところを中心に発表してください。他のグループの工夫している点、良いと思う点をワークシートに記入しましょう。
※ワークシート 2「教室掃除計画　ヒヤリングシート」を配布する
※発表が終わった後、何人かにあて、他のグループの良かった点をクラスで共有させる</td></tr>
<tr><td rowspan="2">まとめ</td><td rowspan="2">
</td><td>ねらい</td><td>●学習したことを振り返り、今後の学校生活で活かすように意識させる</td></tr>
<tr><td>進行・教師の投げかけ</td><td>【説明】
これまであまり意識することなく教室掃除をしていたかもしれませんが、教室の掃除を改めて見直すと、こんなにもいろいろなアイデアが出ることがわかりました。これは教室掃除だけに限らず、みなさんの担当区域にも言えることだと思います。また掃除はグループで協力して役割分担することが不可欠だということもわかりました。ぜひ今日やったことを意識して、自分の担当区域も見直し、グループで工夫してみてください。

【説明】
・今日の計画は実際にやってもらおうと思います。やった内容がどうだったか、計画通りにいったのかどうか、今までと比べて本当にきれいになったのかは振り返って、改善していきましょう。
※計画したことを実践し、振り返ることが大切であることを伝える

【説明】
・今回は掃除をテーマにして考えましたが、何事にも目標や目的があれば、それを達成するために、最も効果的で効率的に実施するにはどうしたらいいかを考え、計画を立てることが必要です。そして実践した後には必ず振り返り、次にどうするかを考え、再度やってみることが大切です。
計画を立てて、実践してみて、振り返るという活動は、これからの勉強やクラブ活動など、いろいろな場面で応用できます。中学生として目標を自分で設定し、それが達成できるように常に意識しましょう。まずは毎日ある掃除時間、これで何度もチャレンジしてみましょう。</td></tr>
</table>

【計画した工程表を活用したアイデア】

生徒が計画した掃除工程は以下のような活動を取り入れていただき、ぜひご活用ください。

●継続掃除の実施

・工程を理解し、役割分担がきちんとできるようになるまで、掃除担当を１週間交代ではなく、３週間～４週間続けてみてもよい。

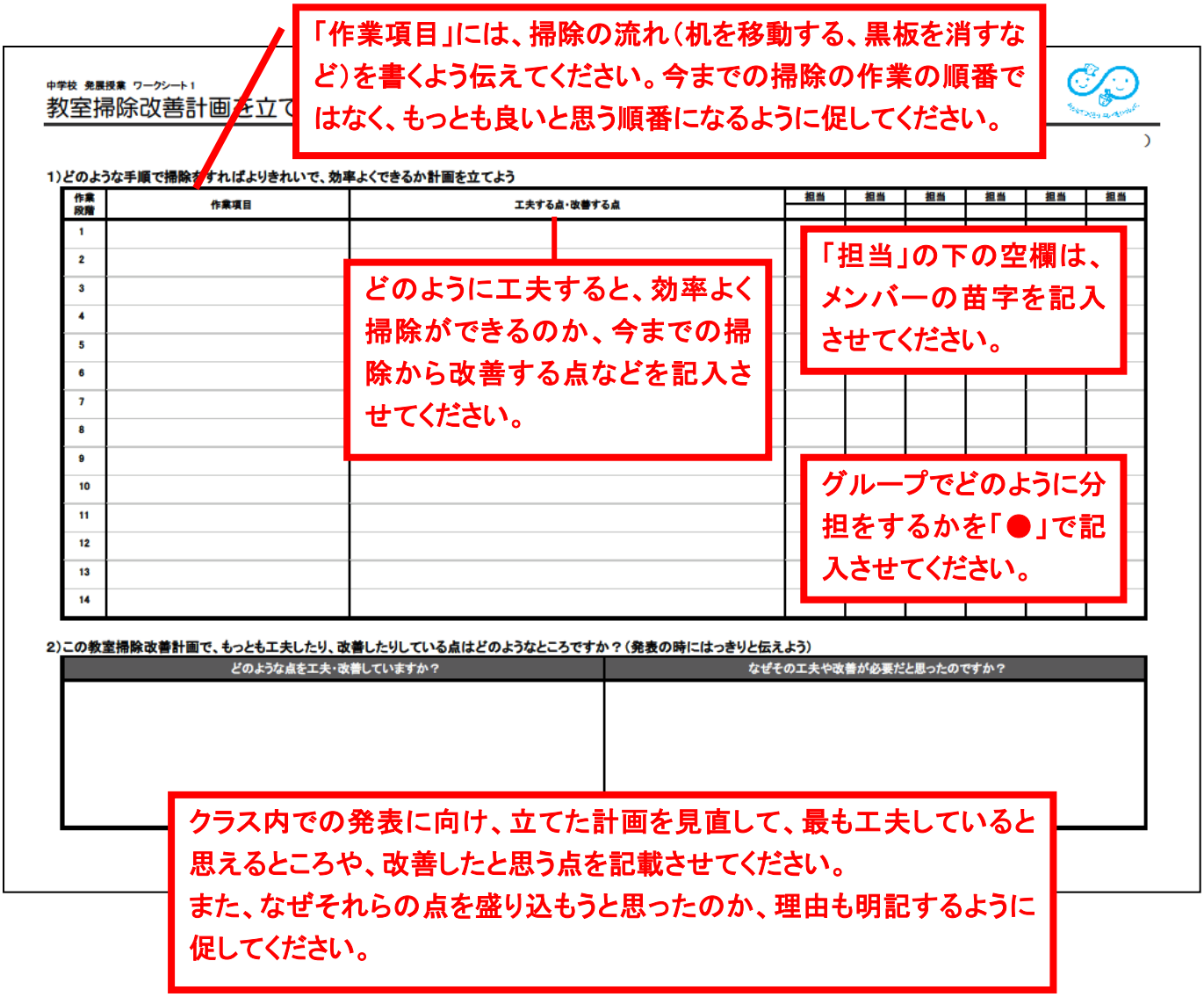
☞　担当区域を継続させることで、担当区域への愛着と責任感が生まれます。

●振り返り会の実施

・計画した工程表を活用し掃除を行ったあと、振り返り会を実施し、どのようなことに気づいたか、それを今後どうしていくかについて話し合う。

☞　計画、実行、振り返り、再考を繰り返すことで計画実行力が身につくとともに、他の学習、学校生活にも応用できます。

●ワークシート1は、グループで１枚利用します。



教室掃除計画 ヒヤリングシート

（　　）年（　　）組　氏名（　　）

1）他のグループの工夫している点・参考にしたい点

グループ名	工夫している点	参考にしたい点

他のグループの工夫している点や、参考にしたい点などを記入するよう伝える。

2）授業を受けて一番印象に残ったことと、初めて知ったことなど書きましょう

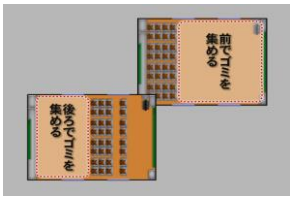
参考資料１　教室掃除工程表

《メンバー工程表》

作業項目	工夫した点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1 机を運ぶ（前⇒後）											
①全員でイスを机の上に上げ机を運ぶ	・2人1組で作業をする ・できるだけ教室の中央より後ろに机を移動させる	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2 前部分をきれいにする	・役割分担をする										
①ほうきで真ん中⇒前に向かって掃く	・教室の前部分のゴミをブロックごとに前に向かってホウキで掃く ・ホコリを吸い込まないように少し距離をとってぞうきんで拭く	●		●		●		●			
②床をふく			●		●		●		●		
③前の黒板をきれいにする										●	
④バケツとぞうきんを準備する											●
⑤ゴミを取る	・前部分の床のゴミと黒板まわりのゴミを一緒に取る	●		●							
⑥机を後ろから前に運ぶ	・机を前に運ぶ際、2列目までを定位置に戻す。（机を移動させる回数を減らすため）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3 後ろ部分をきれいにする											
①ほうきで真ん中⇒後ろに向かって掃く	・後ろ部分のゴミをブロックごとに後ろに向かって掃く ・後ろ部分の床のゴミとロッカー周りのゴミを一緒に取る	●		●		●		●			
②床をふく			●		●		●		●		
③後ろの黒板をきれいにする										●	
④ロッカーをきれいにする											●
⑤ゴミを取る		●		●							
⑥机を定位置に戻し、イスをおろす		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4 水ぶき・片付けをする											
①前の黒板・後の黒板	・水ぶきをする場所をあらかじめ役割分担しておく ・用具に付いたゴミやホコリを取ってから片付ける									●	
②ロッカー											●
③机			●		●		●		●		
④ドアとレール						●		●			
⑤用具の片付け		●		●							

《工程の解説》

＜手順＞



（作業項目１）

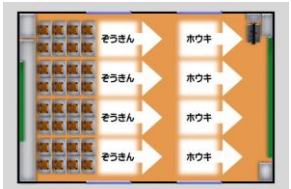
①全員で机を運ぶ

（作業項目２）

①1,3,5,7 はホウキで床を真ん中から前に掃く
②2,4,6,8 は掃いた後から床を拭く
③9 は前の黒板をきれいにする
④10 はバケツとぞうきんを準備する
⑤1,3 はゴミをチリトリに入れて取る
⑥2,4,5,6,7,8,9,10 は机を後ろから前に運ぶ

（作業項目３）

①1,3,5,7 はホウキで床を真ん中から後ろに掃く
②2,4,6,8 は掃いた後から床を拭く
③9 は後ろの黒板をきれいにする
④10 はロッカーをきれいにする
⑤1,3 はゴミをチリトリに入れて取る
⑥2,4,5,6,7,8,9,10 は机を定位置に戻す

（作業項目４）

①9 は黒板の水ぶきをする
②10 はロッカーを水ぶきする
③2,4,6,8 は机の上を水ぶきする
④5,7 はドアとレールを水ぶきする
⑤1,3 は用具の片付けをする